

## 目次

- やまびこ文庫事業
- コラム～もう一人の日本九峰修行者「斎藤平四郎」…P2
- 英語絵本のおはなし会
- 図書館について学んでもらいました…P3
- ご寄贈いただきました
- 「こどもの読書週間」関連行事のご案内…P4

※緑陰通信は県立図書館のホームページ  
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.jp/>)からもご覧いただけます。

## 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業 「語り部のつどい2016」開催!

昨年度までの「次世代へつなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」を引き継ぐ形で、今年度より、「未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業」が新たにスタートしました。この事業により6月、9月には神話・民話の講演会を、7月から11月にかけては、都城市、川南町にて語り部養成講座を実施しました。また、過年度に語り部養成講座を受講した方を都農町民図書館に派遣し、語りを行っていただくという取組も行いました。

語り部のつどいは、事業の大きな柱となるもので、県内で活動している語り部の方々が一堂に会し情報交換を行ったり、記紀や宮崎の神話・伝承、民話等に関する著名な研究者を招聘したりして、それぞれの研鑽を深めていただくという目的で実施するものです。

今年度の語り部のつどいは、12月10日(土)に開催されました。まず、過去に県立図書館主催の語り部養成講座を受講された藤島朋恵さん・浅部和子さんの2名の語りの発表が行われました。藤島さんは神話「ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメ」、浅部さんは民話「煙管のヤニ、石屋が一番」の発表でした。二人ともとても素晴らしい発表で、会場からは盛大な拍手をいただきました。

次に、「語り部の今とこれから」というテーマでパネルディスカッションが行われました。パネリスト・コーディネーターの方々は以下のとおりです。

### ● コーディネーター

・宮崎県立看護大学教授 大館真晴氏

### ● パネリスト

- ・宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会 岡田勝運氏、宇都裕子氏
- ・都城おかしむじ会 竹原由紀子氏
- ・前述の語りの発表者2名

パネリストの方々に1時間にわたって熱い想いを語っていただくとともに、県内の語り部活動がどうあるべきかについて積極的に意見が交わされました。参加者からは、「言葉の文化を受け継いでいくことの大切さを感じました。」「語りや次世代にも引き継いでほしい。自分にもできることを考えたい。」「語り部の方々がこれからもつなぐって次世代にも引き継がれてほしい。」といった感想が寄せられました。

午後からは、皇學館大学の毛利正守教授による「天照大御神の生誕地・日向神話の魅力」と題した講演が行われました。日向神話の魅力について、ユーモアも交えながら詳しくお話いただきました。参加者からは、「あっという間の2時間でした。こんなに神話が身近にあったとは驚きでした。」「大変、面白く勉強になりました。宮崎に生まれてよかった。」といった感想が寄せられました。当日は、午前部・午後部、延べ115名の方にご参加いただきました。

県立図書館では、今後も、みやざきの神話・民話の普及・啓発を図り、宮崎の言語文化の継承の一助となるよう事業に取り組んでいきたいと思っております。



語りの様子(神話)



パネルディスカッションの様子

# やまびこ文庫事業

やまびこ文庫事業の紹介をします。県立図書館には、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を目的とした市町村配送専用書庫（BM書庫）があります。

昨年6月から、町村立図書館・室、小中学校（へき地校）、県立学校（特別支援学校等）に図書を配送する町村支援事業・学校支援事業を開始しました。これまで移動図書館車「やまびこ」が訪問していた学校、図書館・室を中心に図書を配送しています。8月には県立高校支援の第一弾として、この事業を活用して県立宮崎海洋高等学校への貸出もスタートさせました。貸し出した図書は、海洋高校の実習船「進洋丸」で長期乗船実習を行う実習生たちへの読書支援として、船に積まれました。

さらに、市町村図書館支援、学校支援を目的として、訪問活動も始まりました。2月に行った学校支援では、児童・生徒に対する読書活動や学校図書館の運営方法についてアドバイスをしました。読書活動では、BM書庫所蔵の大型絵本の読み聞かせやエプロンシアターを実施しました。児童・生徒はエプロンシアターを大変喜んでいる様子で、授業後、実際に触りに来てくれました。また、よく知られているイギリスの昔話「三びきのこぶた（瀬田貞二／訳 山田三郎／絵 福音館書店）」の読み聞かせでは、小さい頃に聞いた話と違う結末だったからか、先生方からのどよめきも起こりました。さらに、図書館運営方法についての訪問では、学校図書館も蔵書構成や選書基準、読書推進についての校内体制をどうすべきか等、様々な課題を抱えていることがわかりました。予算が限られており、学校図書館の蔵書では十分な読書活動を行うことが難しいという意見は多くの学校から聞きます。今後もやまびこ文庫を届けるだけでなく、できる限り多くの市町村立図書館・室、学校図書館を訪問し、利用する皆様、また、運営する方々にとってよりよい空間となるよう支援を行っていきます。

やまびこ文庫事業では、この他にBM書庫の図書を市町村立図書館や、読書団体等に大量に貸し出す大量貸出事業も行っています。



実習船「進洋丸」への図書貸出



読書活動支援の様子(エプロンシアター)

## コラム もう一人の日本九峰修行者「斎藤平四郎」

平成28年度の秋の特別展では、宮崎市佐土原町にあった安宮寺8代目住職の野田泉光院が成し遂げた6年2か月にもおよぶ日本九峰修行の日向路での様子を、彼が残した館所蔵の「日本九峰修行日記」をもとに紹介しました。

ところでこの長い旅路には泉光院に強力（荷物持ち）として付き従い、同じ旅路を歩んだもう一人の人物がいたことをご存知でしょうか。その名は斎藤平四郎、修行へと旅立った文化9（1812）年、二人の年齢は泉光院57歳、平四郎35歳と二回り近くも離れていました。主人と強力ですから主従関係にはちがいないのですが、お互いの気持ちを尊重し、心を通じ合わせ長い旅を続けました。泉光院にとってもこの平四郎の存在は大きく、彼なくしては果たせなかった日本九峰修行の旅だったと言えます。佐土原町の誓念寺にある平四郎の墓石の背面には、「日本順国九峯修行」と誇らしげに大きな文字で刻字してあり、この旅が平四郎の人生に与えた影響の大きさを推し量ることができます。また、墓石の碑文には、傾いた藩の財政を救うために晩年ハゼノキを植栽し、その実を原料に蠟燭を製造販売し殖産興業に尽力したことも刻まれています。

現在、佐土原町上田島と徳ヶ淵方面を結ぶ道路沿いに残る十数本のハゼノキがその名残で、「はぜ馬場のはぜ並木」と呼ばれており、標柱や陶製の案内板が設置されています。

佐土原藩の財政再建のため、その進むべき道を照らす一筋の光を灯そうと尽力した斎藤平四郎。時季になるとたわわに実をつける道路沿いのハゼノキは、幕末の動乱期に藩の行く末を案じ、東奔西走した斎藤平四郎という一人の人間の生きざまを、遠い日の記憶として静かに語り継いでいるのです。



平四郎(左)と妻(右)の墓



現在の「はぜ馬場のはぜ並木」



# 英語の絵本のおはなし会

## ～ 在福岡アメリカ領事館バネッサ・ゼンジ領事をお迎えして～

宮崎県立図書館は、平成22年3月に在福岡アメリカ領事館からアメリカの本の寄贈を受け、九州の図書館で最初に“アメリカン・シェルフ”を設置しています。以降、同領事館から毎年本のご寄贈をいただくと共に、アメリカの歴史や文化などを学ぶ機会をご提供いただいています。

このようなつながりの中で、平成29年1月29日(日)に在福岡アメリカ領事館のバネッサ・善治(ゼンジ) 広報担当領事をお迎えして、「英語の絵本のおはなし会」を開催しました。ご応募いただいた親子約110名の参加をいただき、約30分間、「Move!」「Billy Twitters and His Blue Whale Problem」「Shin and the Magic Lion」の3冊の読み聞かせ、領事さんとの質問交流を行いました。

領事さんの身振り手振りを加えての本場アメリカ英語による絵本の読み聞かせのほか、質問コーナーでは、

【参加児童】「What your favorite color? (何色が好きですか)」

【領事さん】「Purple (紫です), and you? (あなたは)」

【参加児童】「Me, too. (私もです)」

【領事さん】「Oh, good! (おお、素晴らしい)」

という英語での見事な会話もありました。

読み聞かせが終わった後、領事さんは、参加された宮崎の皆さんの英語やアメリカ文化への関心の高さに感動され、今後とも宮崎県立図書館とアメリカ領事館の間で英語による交流をしたいとお言葉をいただきました。



英語絵本の読み聞かせの様子

## 図書館について学んでもらいました

県立図書館では、学校や子どもたちの学習を支援するために、見学・職場体験学習・司書実習・インターンシップ等の受入れを積極的に行っています。今年度もたくさんの児童・生徒に県立図書館にお越しいただきました。

### ○ 見学 (28校、1,576名)

見学に来ていただいたみなさんには、県立図書館の施設を見学してもらいました。特に普段立ち入ることがない「書庫」の見学では、本の数の多さにみなさんびっくりしていました。目を輝かせながら話を聞き、図書館についてたくさん質問もしてくれました。

### ○ 職場体験学習 (10校、22名)

職場体験学習では、中学生、高校生が2～3日にわたって県立図書館の業務を体験してもらいました。どの生徒さんも、慣れない環境の中、図書館の業務に一生懸命取り組む姿が印象的でした。働くことのやりがいや大変さ、そして県立図書館の業務を体験することで、図書館に対する理解も深めてもらいました。

### ○ 司書実習・インターンシップ (2校、4名)

大学生のみなさんには5～10日間にわたり、さらに幅広い図書館業務に取り組んでもらいました。さすがに大学生ともなると業務に慣れるのも早く、てきぱきと作業していました。近いうちに社会人として活躍が期待されるみなさんです。県立図書館で学んだことが将来それぞれの進路に役立つことを願っています。



職場体験学習(カウンター業務)



職場体験学習(郷土資料関係業務)

## ～職場体験・インターンシップに参加したみなさんからいただいた感想(一部抜粋)～

- ◆ 図書館にいらっしゃったお客様にあいさつをすると、明るく返してくれます。笑顔で対応していると相手も笑顔になってました。笑顔とあいさつ、この日常的な事がこんなにも大切なことだと学ばせていただき、本当に感謝してます。(中学生)
- ◆ 図書館の仕事といったらカウンターや排架ぐらいしか思いつきませんでした。実際に業務の一部を体験してみると、頭の中で想像していたものとは違って、たくさんの仕事があり、びっくりしました。図書館の仕事は裏方の仕事があって成り立っていることを知ることができました。(高校生)

# ご寄贈いただきました

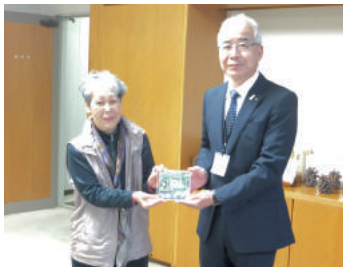
## ◎宮崎野生植物同好会様

宮崎野生植物同好会様より、平成28年11月、同会が運営されているホームページ「みやぎきの植物散策」の内容を収録したCDを寄贈していただきました。

平成20年以来、毎年新しい内容の改訂版をいただいております。今回が9回目となります。

なおこのCDは、県立図書館1階の郷土資料室に展示しています。

ぜひご活用ください。



宮崎野生植物同好会様

## ◎日産宮崎会様

平成29年2月、日産宮崎会様より、第32回日産童話と絵本のグランプリで大賞を受賞した『日曜日の小さな大ぼうけん』と『ちかしつのなかで』の2作品を当館と県内の市町村図書館・室に寄贈していただきました。

宮崎県立図書館では、第1回から第31回までの入賞作品全57作を日産宮崎会様から寄贈していただいております。ぜひご活用ください。



日産宮崎会様

## 「こどもの読書週間」関連行事のご案内

4月23日は「こども読書の日」です。毎年、この日を含んだ約3週間（平成29年度は4月18日～5月7日まで）を「こどもの読書週間」として、絵本の読み聞かせなど子どもたちに読書の楽しさや喜びを感じてもらえるような催し物を行っています。平成29年度は、自然に興味をもっている子どもたちと自然の本をつなげるきっかけとなる「ネイチャーゲーム」や工作教室、おはなし会などを企画しています。ぜひ、ご来館ください。

### ●ネイチャーゲーム「自然と遊ぼう！ネイチャーゲーム～自然の本とこどもをつなぐ～」

平成29年4月23日(日) 10時～12時 ※要申込

### ●ワークショップ「おもしろ工作でおはなし～びっくり箱とふしぎなおうち～」

平成29年5月3日(水) 10時～11時30分 ※要申込

### ●おはなし会 ※「こども読書週間」期間中は、通常のおはなし会に加え、下記の日時でも実施します。

平成29年4月29日(土) 15時～16時 4月30日(日) 15時～15時30分

5月3日(水) 15時～15時30分

### ●緑陰コンサート 屋外での吹奏楽演奏や絵本の読み聞かせ（雨天時は室内）

平成29年5月3日(水) 10時30分～11時45分

### ●子ども映写会 上映作品「バンビ」

平成29年5月5日(金) 10時～11時10分



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。

宮崎県

## 閲覧室からのお知らせ

### ○身分証明書が必要です！

年度末のこの時期は、毎年、貸出カードの新規作成、更新手続きをされる方が多くなります。更新手続きにも「身分証明書（免許証や保険証など）」が必要です。ご持参ください。（更新は5年に一度必要です。）

### ○飲食は禁止です！

1階閲覧室、ギャラリー、ロビー（閲覧室を出たところ）での飲食は禁止しています。飲食される方は2階「みどりの談話室」をご利用ください。

### ○写真撮影は禁止です！

デジタルカメラだけでなく、携帯電話、スマートフォンを使った写真撮影は、閲覧室内では禁止しています。図書館資料の複写はお受けしていますのでご相談ください。

## ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00

■児童図書室：9:00～17:00

休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）

年末年始：12/29～1/4

特別整理期間：2/19～2/26

## 編集・発行

### ●宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1

TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）

FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）

HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp>

携帯アドレス ■[http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i\\_index.htm](http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm)

